



水質測定用試薬セット

No.11B

残留塩素(遊離)

型式:LR-CIO・DP

発色：無色→桃

測定原理：DPD 法

試薬：R-1(パック)

測定条件(推奨)

測定波長：552.2nm

測定方法：1. 検水をセルに入れ、ゼロ合わせを行なう。

2. 検水25mL をビーカーに採り、R-1 試薬を加え、攪拌する。

3. R-1 試薬投入1分後、吸光度を測定する。

4. 予め作成した検量線より、測定値を求める。

注意

1. この方法では、検水中の遊離残留塩素が測定されます。総残留塩素の測定方法は、お問い合わせください。
2. 本測定では、試薬の溶け残りが浮遊するため、低濃度を測定する場合は、ばらつきが大きくなる場合があります。必要に応じて、次のいずれかの対処を行なってください。
 - ◆ 試薬添加後は、ビーカーを5～6回うすまき攪拌し、すぐにセルに移す。
 - ◆ 試薬の浮遊による濁度分のキャンセルを行なう。(2波長定量法)



株式会社 共立理化学研究所

KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<http://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

裏面もご覧ください。

使用前、使用後の取扱い注意

応急措置

試薬・測定液が **目に入ってしまったら** → すぐに多量の水で洗い流してください。

試薬・測定液が **皮膚や衣服にふれたら** → すぐに水で洗い流してください。

試薬・測定液が **口に入ってしまったら** → すぐに水で口の中を洗い流してください。

上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

特に、試薬・測定液を飲み込んだ場合には、水または牛乳を多量に飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

試薬に関するお知らせ

本試薬は、取扱い者への MSDS の提供を義務づけた「PRTR 法」「労働安全衛生法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。

測定液は約 pH7 です。